

YMG看護部

認知症研修

アンケート集計結果

☆ 研修日 : 平成 26年 9月 26日(金)

☆ 会場 : かわさき記念病院 1F講義室

☆ 講師 : 大倉山記念病院
看護部長 古屋 節子 氏

☆ 参加者 : 25名

(勤務場所別内訳)

・ 病院 20 名
・ 老健 5 名

(職種別内訳)

・ 看護師 12 名
・ 准看護師 1 名
・ 介護福祉士 9 名
・ 介護職 3 名

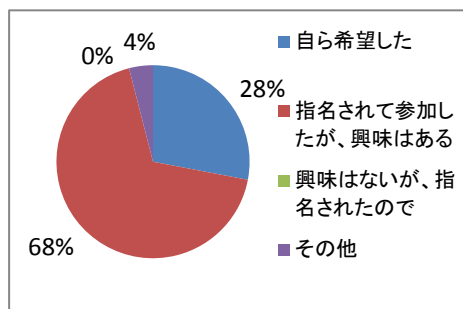
集計日 : 平成26年9月27日

集計枚数 : 25 枚

1. 研修参加の動機について

① 自ら希望した	7 名	28%
② 指名されて参加したが、興味はある	17 名	68%
③ 興味はないが、指名されたので	0 名	0%
④ その他	1 名	4%

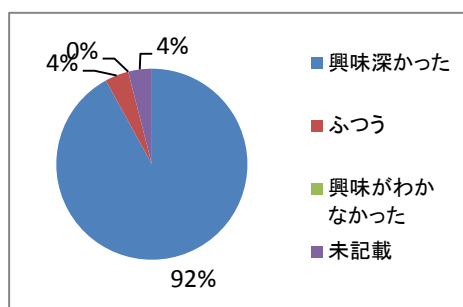
※その他理由
 前回研修を希望したが、人数が多く参加できなかった為、
 今回希望した。



2. 研修内容について

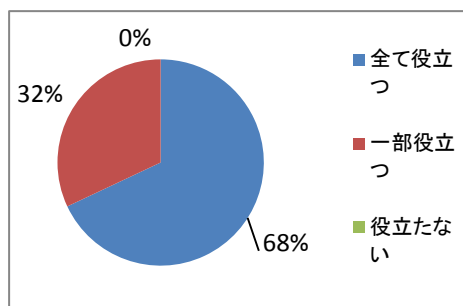
1) 興味の度合い

① 興味深かった	23 名	92%
② ふつう	1 名	4%
③ 興味がわかなかった	0 名	0%
④ 未記載	1 名	4%



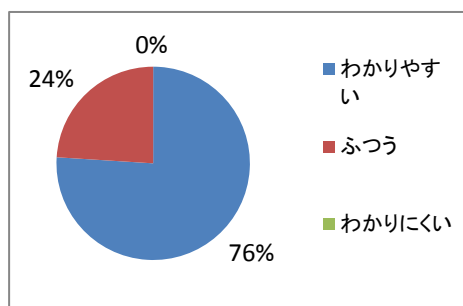
2) 実践への応用

・ 全て役立つ	17 名	68%
・ 一部役立つ	8 名	32%
・ 役立たない	0 名	0%



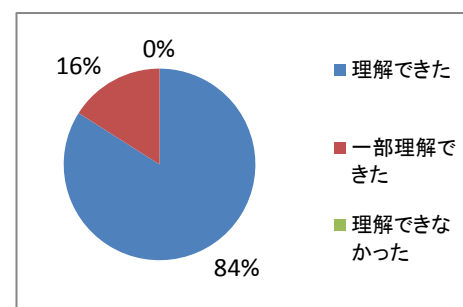
3) 教材・資料

・ わかりやすい	19 名	76%
・ ふつう	6 名	24%
・ わかりにくい	0 名	0%



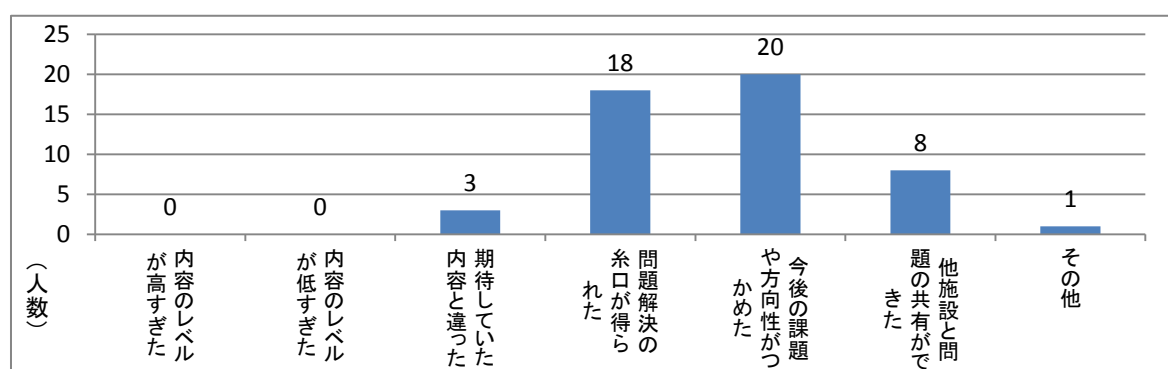
4) 理解度

・ 理解できた	21 名	84%
・ 一部理解できた	4 名	16%
・ 理解できなかった	0 名	0%



3. 研修全体を通しての感想（複数回答）

①	内容のレベルが高すぎた	0名	0%
②	内容のレベルが低すぎた	0名	0%
③	期待していた内容と違った	3名	12%
④	問題解決の糸口が得られた	18名	72%
⑤	今後の課題や方向性がかめた	20名	80%
⑥	他施設と問題の共有ができた	8名	32%
⑦	その他	1名	4%



⑦その他と答えた方のコメント

- ・ 認知症の基礎を再確認できた。

5. 研修での、気づき・学び、感想・意見など

- ・ 利用者様に関わる上で生活歴を知る、否定はせずに傾聴することを大切にしたいと思いました。今までのケアを振り返りケアしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 他施設、他職種の職員の方々と関わりを持つことで、情報を交換し、共有できた。そのため、自分自身刺激を得る事ができた。
- ・ 認知症の方が日々を穏やかに過ごして戴けるようにこの研修で認知症の方の理解を深める「人」として見る事が大切なのだと気づきの多い研修でした。ありがとうございました。
- ・ 脳のメカニズムと病態について詳しく教えて頂き、勉強になりました。今後、役立てていきたいと思えます。嚥下障害のある方が柿ピーを食べる話は考えさせられました。ありがとうございました。
- ・ 出来るだけ研修には、参加して学んでいきたいです。グループワークで他施設の方と交流出来てよかったです。
- ・ 日頃、ジレンマとして感じる事例と結びつく講義内容でした。他施設との情報交換もでき、良かったです。
- ・ 今までと違った考え方で接していけそうだと思います。
- ・ 4月から認知症専門病院であるかわさき記念病院に入職しました。4月から17日間研修した際に同じ内容の研修を受けましたが、働き始めてその際聞いた時と思浮かべる事が違い、出た意見を参考にできる、参考にしたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 事例で、他施設の方と問題を考えて答えを出せて、色々な意見が聞けた事はすごく良かったです。施設に帰ってからも今日学んだ事をよく理解した上で活かせれば良いなと思いました。
- ・ 認知症について、誤解していた部分があり、今回の研修を終え、もっと認知症のある方がホットするような接し方をしたいと思いました。現場で認知症のある方が穏やかにすごせるように努て行きたい。
- ・ 講師の実体験を踏まえての内容は、興味深かった。

- ・ 認知症のある方との関わりや対応、また、その人がどのように思っているか等、今回の研修で学ぶ事ができた。
- ・ 「人」を看るといふ言葉をしっかり胸にこれからも介護の仕事をやっていきたいと思いました。
- ・ 仕事上で忙しさのあまり言っではいけない言動など出てしまうことがあり、今回研修を受けた事で改めて自身の言動を考えさせられた。
- ・ いつも研修をするとグループワークが苦手な初対面の方との話が上手に出来ないで、それを克服したいです。事例を元に他施設の話が聞けたのが良かったです。
- ・ 認知症の方のペース・リズムを把握して、言動に裏付けられる気持ちを理解してあげられる介護をしていきたい。
- ・ 講義中であつた目をつむつてのシミュレーションでは、認知症の方の気持ちを知れたとともに、自分も普段同じような文句を患者様に言っていると思ひ、反省しました。不安によりそつた関わりなどを心掛けたいです。
- ・ 認知症を持つ方の思考の状態(混乱、パニック)などとても身近に感じ学びやすかつた。忙しい業務の中、スタッフのやりやすいような話し方や口調になりがちであり、改めて傾聴の重要性が認識できた。
- ・ 具体的な患者対応のヒントとなるようなところが聞けて良かった。実践に活かせる内容が多くて良かった。
- ・ 病棟での事例を思い出しながら振り返ることができてとても勉強になりました。
- ・ 初心に戻ることができました。頭の中では、わかつていてもバタバタしている現場では、できていないことが多いことに再び気がつきました。一つ一つの行動を患者様の立場に立つて、アセスメントしてから関わる事が大切だと感じました。
- ・ 日々、煩雑な業務に追われ、なかなか、個別性にそつた対応が出来なかつたり、不穏な患者に対しての対応に困惑したり等あつたが、この研修を通して、今後の仕事に役立てて行きたいと思ひました。ありがとうございました。
- ・ 全ての人に対して「その人の気持ちになつて対応、考える」ことが大事だということ。できなくなつた部分に目をやるのではなく、できる部分に目を向けて、その不安な気持ちを強くさせてしまわない支援を行うことが認知症の方にはより良いケアに繋がる事を学べた。